

6月新着図書案内



下旬版
富山中部高校図書館



ドレミファソラシは虹の七色?
知られざる「共感覚」の世界
伊藤 浩介 著

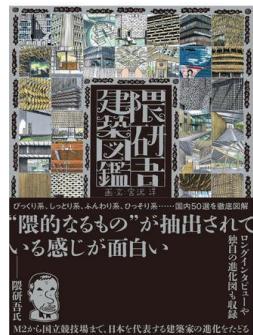
ドレミファソラシが虹の七色になるという、気鋭の脳科学研究者が発見した共感覚の現象をもとに、音階がなぜ色を持つのか、なぜそれが虹色になるのかを考察する。人間の認知の不思議を探る知的スリルに満ちた一冊。



「役に立たない」研究の未来

初田 哲男 ほか 著

そもそも「役に立つ」って、いったいなんだろう？
本書は、各分野の一線で活躍する3名の研究者が、
『「役に立たない」科学が役に立つ』をテーマにした
議論を中心に、書下ろしを加えたうえでまとめた書。
これからの「科学」と「学び」を考えるために、理系
も文系も、子どもも大人も、必読の一冊！



隈研吾建築図鑑
宮沢 洋 画・文

国立競技場や高輪ゲートウェイ駅、角川武蔵野ミュージアムなどを次々とデザインし、時の建築家となつた隈研吾氏。彼の建築はどのように進化を遂げたのか。国内で見ておくべき建築50件をキーワードで分類し、豊富なイラストとともにデザイン面や技術面での専門的な解説を記す。

直木賞『鍵のない夢を見る』、本屋大賞『かがみの孤城』、映画化で話題となった『朝が来る』など
話題作を送り出してきた辻村深月が描く、2年ぶりの新刊長編！



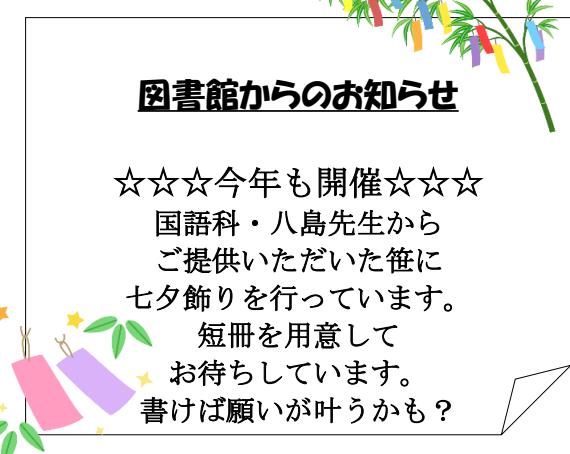
琥珀の夏
辻村深月 著

かつてカルト集団として批判された団体の敷地から子どもの白骨が発見された。弁護士の法子は、遺体は自分の知る少女ではないかと胸騒ぎを覚える。30年前の記憶が蘇り、忘れて大人になった者と取り残された者はやがて法廷へ――。



武器ではなく命の水をくりたい
中村哲医師の生き方
宮田 律 著

平和な世界をつくるには何が必要か。2019年12月、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。35年にわたってパキスタンとアフガンで人道支援にあたった生涯をたどりながら、その生き方、考え方を伝える。



図書館からのお知らせ

☆☆☆今年も開催☆☆☆
国語科・八島先生から
ご提供いただいた笹に
七夕飾りを行っています。
短冊を用意して
お待ちしています。
書けば願いが叶うかも？